

聖心女子大学 中期目標・中期計画（2025 年度～2029 年度）

私たちを取り巻く社会には少子化に加え、人工知能（AI）や ICT に代表される産業の技術革新などの波が急速に押し寄せ、経済情勢が大きく変化する中で、将来像を見据えることが、ますます難しくなっています。こうした予測困難な時代において、次世代を担う若い人々に必要とされるのは、一人一人をかけがえのない存在として尊重しあう人間観、そして、幅広い知識や柔軟な思考力をもって世の中の課題を洞察し、社会に深く働きかけてゆく人間の知性といえます。

聖心女子大学では、こうした「真の教養人」を育てる「リベラル・アーツ教育」を 1948 年の創立以来、変わることなく貫いてきました。初代学長、マザー・ブリットの「自立した人でありなさい、知的な人でありなさい、協力する人でありなさい。あなた方は社会のどんな場所にあっても、その場に愛の灯（ともしび）を掲げる人になりなさい」という言葉に集約されるように、自らの視点や価値観を確立し、豊かな知性を備え、それをもって人々と協調し社会に貢献できる人物の育成を目指しています。

聖心女子大学は 2025 年度から 2029 年度の 5 か年間で達成すべき A～D の 4 つの基盤的目標を設定し、時代の変化に適合した教育・研究の確固たる基盤を整えることを基本的なテーマとしています。

大学の教職員をはじめ、その他のステークホルダー間でこの目標と計画を共有し、各年の事業計画に盛り込みながら着実に実現していきます。

A 学修者本位の教育の充実

1. 学生の多様な経験に基づく学びの促進
2. 分野横断型プログラムの推進
3. 大学院教育・研究の推進
4. 学生支援体制の充実
5. 大学運営への学生参加のあり方の検討
6. 教育組織再編案の検討

B 研究・社会連携の推進

1. 研究力の強化
2. 産官学域・大学連携の推進
3. 建学の精神に基づく社会・地域貢献

C アドミッション・ポリシーに合致した学生の受け入れ

1. 入学者選抜の検証と改善

2. 入試・大学広報の強化
3. 高大連携の強化
4. 大学院入学者の確保

D 組織・財政基盤の整備

1. 内部質保証体制の確立
2. 組織の活性化
3. D Xの推進
4. 大学運営のための財政基盤の安定化
5. 施設・設備の整備・充実